

認知機能低下が疑われる高齢市民における要介護状態発生リスクの定量化

神戸市は、WHO 神戸センター、神戸大学および先端医療財団が共同で実施する認知症に関する疫学研究に協力しています。

神戸市の保健事業の中で把握した対象者の方にアンケートを送付し、要介護・要支援認定等の介護保険関連情報を統合し、解析を行う疫学研究です。また、対象となられた皆様の情報を個別に検討するのではなく、地域集団の統計データとして分析します。この研究は、神戸大学の倫理委員会で、文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づく審査を受け、承認を得て実施するものです。

1. 研究の目的

本研究は、神戸市内在住の認知症発症のリスクをもつ高齢者の日常生活動作（ADL）や Quality of Life（生活の質）が、2年後の要介護状態とどのように関連するか評価することを目的とします。

2. 研究の対象

2015年5月1日～2015年7月31日の間に神戸市役所より郵送した「介護予防のための基本チェックリスト」に回答した70歳以上の方のうち、認知症に関連した3項目（項目18、19、20）に1つ以上該当し、かつ二次予防事業対象者に該当する方で、研究に同意し、2回分のアンケートにお答えいただいた方。

3. 研究方法

研究対象者の「介護予防のための基本チェックリスト」の記入事項等とその後の要介護状態の情報（平成31年3月までの情報）を連結し、要介護状態に関連する因子を分析します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる情報は、アンケート「認知症の社会的負担を軽減するための神戸プロジェクト」の記入事項（2回分）と要介護・要支援認定等の介護保険関連情報。

5. 外部への試料・情報の提供

データベース作成およびデータ提供は、研究関係者以外はアクセスできない状態で行います。個人のデータは匿名化し、電子媒体で研究機関（神戸大学、先端医療振興財団臨床研究情報センター）に提供します。

6. 研究組織

研究責任者：神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域 古和久朋

共同研究者：公益財団法人先端医療振興財団臨床研究情報センター 小島伸介、菊池隆

7. 研究資金源

WHO神戸センター

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

連絡先：

本研究内容に関する問合せ

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘 7-10-2

神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域

「認知症の社会的負担を軽減するための神戸プロジェクト」

Tel: 078-796-4561

同意書に関する問い合わせ

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1

神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課 地域包括支援係

Tel: 078-322-6325